

カトリック

# 広島教区報

## 主はまことに復活された。アレルヤー!

広島教区司教 三末 篤實

復活祭のおよるこびを申しあげます。聖書にありま  
すように、主は預言の通り  
十字架にかけられ死して葬  
られ、三日目に復活されま  
した。その後多くの人々に  
現れ、復活の事実を現され  
たのです。そのことは自ら  
が神であることを示しその  
あかしをして教えを完成さ

せるためでありました。  
キリストの復活は人間の  
知恵では悟ることのできな  
い不思議な奥儀であり神秘  
です。神ご自身が具体的に  
明らかにして下さったゆえ  
に私たちは信じることで  
きます。復活の奥儀は奥儀  
の中でも最も重要な奥儀の  
一つです。

復活祭のおよるこびを申しあげます。聖書にありま  
すように、主は預言の通り  
十字架にかけられ死して葬  
られ、三日目に復活されま  
した。その後多くの人々に  
現れ、復活の事実を現され  
たのです。そのことは自ら  
が神であることを示しその  
あかしをして教えを完成さ



聖香油ミサと祭壇奉仕者選任式 (3月31日)

キリストの復活は、私た  
ちにとっては約束された永  
遠の救いの保証であり人生  
の目的でもあります。私た  
ちのよろこび苦しみの全て  
は最終的にキリストの復活  
に与かるためであることを  
忘れてはなりません。  
私たちは今後とも主のみ  
くへの完成を人生の目的に  
到達できるまで最善を尽く  
して参りたいと思います。  
このたび広島教区の二人  
の神学生が「祭壇奉仕者」

として選任されました。広  
島教区にとつては久しぶり  
の感じですが、神のお恵み  
に感謝をおささげすると共  
にみんなでこの大いなるよ  
ろこびを分かちあいたい  
と思います。  
司祭に叙階されるまでに  
は色んな過程を経なければ  
なりません。お祈りとあら  
ゆる支援と協力が必要であ  
ることは申すまでもなく霊  
的な養成をはじめ多くのこ  
とを学ぶ必要があります。  
そのためには長期間が必要  
となります。叙階(司祭)  
に至るまでにはいくつかの  
段階を経なければなりません。  
この選任式は助祭叙階  
の前になされるものです。  
今後とも祭壇奉仕者に選  
任された二人の神学生が神  
のお恵みの中で近づいてい  
る司祭叙階に向かって健康  
を保ちながら邁進されます  
ように沢山の方々のお祈り  
とご支援をお願いいたしま  
す。(二面へ続く)

No. 80

カトリック  
広島司教区

発行責任者  
広報担当  
服部大介神父

広島市中区鞆町 4-42  
広島司教区内  
TEL (082)221-6017

ご復活おめでとうございませす

広島教区長 三末篤實 司教  
司教総代理 斉藤眞仁 神父

教区本部事務局  
平和の使徒推進本部事務局  
広島司教館

原田豊巳 神父  
肥塚修司 神父  
野間重信 神父  
長谷川儀 神父  
澤野耕司 神父

山口教会

加藤信也 神父  
カンガス 神父  
小崎次郎 神父  
恩地 誠 神父  
パリオヌエボ神父

広島地区

地区長  
職町教会司牧チーム  
(チームメンバー)  
(五月より)

後藤正史 神父  
後藤正史 神父  
アルベルト神父  
ステイブ神父  
斎藤眞仁 神父  
尾島紀代治神父  
山根敏身 神父  
カトレット神父  
ジェロム 神父  
原田豊巳 神父

防府教会  
萩教会  
岩国教会  
周南地域チームミニストリー  
徳山・下松・光・柳井教会

アルテリヨ神父  
モラーレス神父  
泉 類治 神父  
オレギ 神父  
中村健三 神父

観音町教会

呉教会  
廿日市教会  
三篠教会  
三次教会  
翠町教会  
三原教会  
尾道教会  
福山教会

肥塚修司 神父  
アルバレス神父  
アルベルト神父  
アルナルド神父  
山口道晴 神父  
服部大介 神父  
パトリック神父  
(職町教会から)

宇部小野田地域チームミニストリー  
宇部・北若山・高千帆教会

三喜田虎太神父  
アレックス神父  
アルカラ 神父  
池尻廣幸 神父

祇園教会

向原教会  
松江教会  
岡山・鳥取地区  
地区長  
岡山・岡山西

深堀升治 神父

下関ブロックチームミニストリー  
細江・彦島・長府教会

李 相源 神父  
リントホスト神父  
田丸 篤 神父  
林 尚志 神父  
薄田 昇 神父  
木村信行 神父  
西山和男 神父  
モレノ 神父  
バラ 神父

榑灯センター

倉敷地域共同司牧チーム  
倉敷・玉島・水島教会

萩喜代治 神父  
萩喜代治 神父  
李 尚潤 神父  
アンリ 神父  
早副 稔 神父  
豊田尚臣 神父  
ミシエール神父  
瀧井英昭 神父

長東修道院

山根敏身 神父  
瀬戸勝介 神父  
ラフオント神父  
近藤 信 神父  
裏辻洋二 神父  
デ・ウアルス神父  
マクガレル神父  
三宅秀和 神父  
河村剛 修道士  
ヘンゼラー神父  
ベルタニョ神父  
李 聖一 神父  
柳田敏洋 神父  
関根悦雄 神父  
松島忠雄修道士  
清水 弘 神父  
塚田健統 神父  
牛尾幸生 神父  
ロサド 修道士  
ヘンリクス 修道士  
牧田真一 修道士  
ホンテレー 修道士

玉野教会

津山教会  
倉吉教会  
鳥取教会  
米子教会

野中 泉 神父  
ブレイズ 神父  
金 起登 神父  
ワレ 神父  
関 亮一 神父  
野崎一夫 神父  
西江和司 神父

職町修道院

愛徳修道士会

山口・鳥根地区

佐々木良晴神父  
高橋義博 神父  
百瀬文晃 神父

佐々木良晴神父  
高橋義博 神父  
百瀬文晃 神父

愛徳修道士会

愛徳修道士会

(一面の続き)

選任されました二人の神学生はマキシミリアノ・マリア・コルベ猪口大記神学生とヨハネグエン・クア

2010年 教区年間テーマ  
 「平和の使徒となるう」  
 ～神さまの呼びかけにこたえて～

2010年の教区行事  
 ◆6月6日(日)  
 『三末司教叙階25周年記念行事』  
 ◆11月23日(祝・火)  
 『2010広島教区代表者会議  
 ～司教宣言5周年にあたって～』

【年間テーマの浸透について】

ご復活の喜びと共に、日常生活においては新しい年度を迎え、新生活をスタートされた方々も多いこの時期、各地区、小教区において二〇一〇年の教区年間テーマ、サブ

テーマに対する教区の共通課題である『どのよ

ン・トウアン神学生です。皆様のお祈りご支援をよろしくお願いいたします。皆様のおかげに神の祝福をお祈りいたしつづつ！

うに教区内に浸透させていくか』について、本年一月に各地区で開催された地区宣教司牧評議会において議論を行っている。これは教区、地区、小教区における「テーマについてフォーローアップは十分にできたか」という昨年の反省による。そのため各地区宣教司牧評議会の推進力に期待したい。

またサブテーマの趣旨について、教区民として意識を持つこと、そしてわたしたち教区民すべての信者が「司祭」であり「信徒」であるという意識を持つこと、そのために、ミサ、祈り、様々な活動を通して「イエスの弟子としての生き方をどう実践していくか」「神さまの呼びかけにどうこたえるか」と問われていることを心に留めた一年とした

地区、小教区へのご願いとして、①「教区テーマの浸透と一致について」の議論を行う。②サブテーマを自分たちのものにするために、地区、ブロックおよび小教区内でテーマに対する話し合いを実施するよう推進する。

この二つを推進するために、必要に応じて地区、ブロックおよび小教区からの要請により、平和の使徒推



進本部、教区推進チームのメンバーが出前説明などの対応を行っていく。

【三末司教叙階二十五周年記念行事について】

六月六日(日)に世界平和記念聖堂で、三末司教叙階二十五周年記念行事が開催される。この記念行事の企画・準備のため、広島地区の協力を得て、平和の

使徒推進本部の傘下に実行委員会が発足した。当日のスケジュールは、①開会セレモニー(十三時四十五分～)②記念ミサ(十四時～)③祝賀パーティー(十五時三十分～十七時)が決定した。

現時点では、参加者を千人規模として準備を進めているが、近々、概算人数を把握するため地区を通じて各小教区、修道会に参加人数の状況確認をお願いする予定である。

記念行事の中では、子どもたちや在住外国人の方の力も発揮していただき、ま

た三末司教叙階二十五周年のあゆみの振り返りや、姉妹教区十周年のお祝いなどについても企画中である。

また記念行事前日の六月五日(土)に「プレイベント」を開催するための準備も進められている。これは三末司教叙階二十五周年を祝うと共に、将来の広島教区を「みすえ」で分かち合う『時間』を共有することが目的であり、今年秋に行われる二〇一〇広島教区代表者会議に向かう一助とするものである。

平和の使徒推進本部

広島教区 司祭人事異動 新任地 ← 前任地		
野間重信 神父	福音の光修道会	本部修道院付チャプレン (6/1より) ← 司教館
長谷川儀 神父	3ヶ月のサバティカル	← 廿日市教会主任
瀧井英昭 神父	笠岡教会主任	← 岡山南教会主任
野中 泉 神父	倉敷地域司牧チームモデラトル	← 岡山教会司牧チームメンバー
原田豊己 神父	廿日市教会主任兼務	← 翠町教会担当兼務
アルベルト神父	翠町教会担当兼務	← 幡町教会協力
ステイブ神父	新任 幡町教会司牧チーム (5月連休後)	
荻喜代治 神父	岡山・岡山南教会主任	← 岡山教会司牧チームモデラトル
豊田尚臣 神父	岡山・岡山南教会協力	← 岡山教会司牧チームメンバー
李 尚潤 神父	新任 岡山・岡山南教会助任	
ジェリー 神父	教区外 ← 呉教会主任	
レネ 神父	教区外 ← 倉敷地域司牧チームモデラトル	
ギャリー 神父	教区外 ← 福山教会助任	
アンリ 神父	新任 岡山・岡山南教会助任	
パトリック神父	福山教会助任	← 倉敷地域司牧チームメンバー
ジェロム 神父	呉教会主任	← 倉敷地域司牧チームメンバー
西山和男 神父	津和野教会主任代行	← 山口教会助任
関根悦雄 神父	イエズス会幡町修道院	← 他教区

司教叙階記念と司祭・修道者のダイヤモンド・金・銀祝のお祝い

六月六日(日) 三末篤實

司教叙階二十五周年記念と司祭・修道者のダイヤモンド・金・銀祝のミサとお祝いが、幟町教会で十三時四十五分から行われる。

◆ダイヤモンド祝◆

・淳心会

関 亮一神父

一九五〇年八月六日叙階

◆金 祝◆

・イエズス会

瀬戸勝介神父

一九六〇年三月十八日叙階

木村信行神父

一九六〇年三月十八日叙階

小崎次郎神父

一九六〇年三月十八日叙階

・援助修道会

シスター岩崎カズエ

一九六〇年四月十八日初誓願

・援助マリア修道会

シスター石井節子

一九六〇年一月六日入会

シスター森田令子

一九六〇年一月六日入会

・ナミュール・ノートルダム修道女会

シスター小川和子

一九八五年四月一日初誓願

シスター広田和子

一九六〇年八月三十一日入会

シスター荒谷明恵

一九六〇年九月十二日入会

・長崎純心聖母会

シスター今村フジエ

一九六〇年八月二十二日初誓願

◆銀 祝◆

・イエズス会

李聖一神父

一九八五年三月十六日叙階

・援助マリア修道会

シスター佐々木康子

一九八五年四月一日初誓願

シスター小川和子

一九八五年四月一日初誓願

J-CaRM 広島便り

フィリピン人黙想会  
宇部教会に四十余人集う

2月21日(日)、宇部教会に於いて、山口島根地区居住のフィリピン人対象の四旬節黙想会が行われました。指導は淳心会のパトリック神父様。防府、山口、長府、細江、小野田、宇部から、子どもたちも含めて四十余人が集いました。

まず、映像を交えて「放蕩息子」のたとえ(ルカ15章11節～32節)の話の聞き、赦しについて学びました。ミサで歌う歌の練習、自己紹介、お楽しみのランチの後、聖堂に移動。静かな音楽の流れる中で、個人個人深く祈る時間を持ち、赦しの秘跡を受ける準備をしました。ミサの中ではタガログ語の歌も歌われ、心をひとつにして四旬節第一主日を締めくくった次第です。

久方ぶりに母国語での赦しの秘跡を受けることができ、多くのフィリピン人が喜んでくださり、実りある一日であったと思っております。

なお宇部に、カルメル宣教修道女会の三人のシスター(インド人二人、フィリピン人一人)が着任されました。早速にパトリック神父様のお手伝いをしてくださり、ランチタイムにはナポリタンスパゲティ、インド風春巻きなどを作ってください、一同感激しました。

今後、山口島根地区滞日外国人のために大きな力となつてくださることでしょう。

共に手を取り合って働いていければと願っております。

J-CaRM 広島教区委員 梶谷紀子

広島教区の施設  
福山暁の星  
中・高等学校

本校は、一九四九年に福山に創立され、現在では広島県東部において、唯一の女子のカトリック学校となりました。

二十一世紀、多様化していく現代社会において、生命がさまざまな形で脅かされる状況の中で、生命をいとおしみ、はぐくむ女性の存在が大切になっていくことはいうまでもありません。本校では、その必要に応えるため、冷静な判断力、責任ある行動力、優しさと他者に仕える心を持つ女性の育成に力を注ぎ、グローバル社会に送り出すことを目指しています。

本校のカトリック教育の根底にあるのは、キリスト的人間観であり、イエス・キリストの言葉や生き方に触れる中で、キリスト的な価値観を知り、自分の生き方に重ねてよりよく生きることが深めていきます。



本校の校訓「マリアと共に、神に信頼、己に誠実、互いに睦み、進んで奉仕」は、生徒のために本校の建学精神を端的に表したものです。年間を通じてのさまざまな宗教的行事は、宗教的な情操を養います。さらに創立の初めから大切にしてきた国際的なセンスを養い、その精神を生かして、アジアを中心とする留学生の受け入れ、マレーシアの学校との交流、さまざまな奉仕活動を継続しています。生徒が始めた『おにぎり弁当』による募金などを通してフィリピンの子どもの学習支援などもしています。

生徒たちは、女性として自立し、社会の中で自分を生かすことのできる道を目指し、その進路も多様化しています。医薬学、理工学系に進む生徒も多く、生徒の進路保障のために独自のカリキュラムを組んでいます。

生徒・家族・職員が『暁の星ファミリー』と呼ばれる大きな家族の絆で結ばれ、広く国際社会に羽ばたいていきます。

広島取地区（地区長 萩神父）、広島地区（地  
3地区の教会で働く司祭の紹介を行います。



年3月12日  
3月20日  
リオ  
のことば：  
かに待ち望むことは、良いことである。哀歌3：26



年11月8日  
4月25日  
のことば：  
エズスが抱いたのと同じ思い  
フィリピ

広島

⑮福山教会

ハットリダイスケ  
服部 大介 神父

出身：広島県  
生年月日：1962年7月20日  
叙階日：1997年3月20日  
洗礼名：ペトロ  
叙階記念カードのことば：  
来なさい、そうすれば分かる。ヨハネ1：39



⑮福山教会

カストロベルデ・パトリック・バスコン 神父（淳心会）

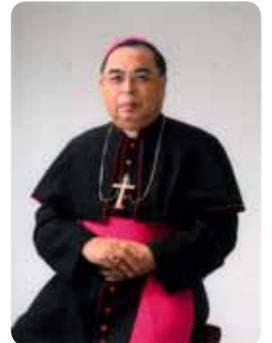
出身：フィリピン・セブ島  
生年月日：1979年11月5日  
叙階日：2009年5月16日  
洗礼名：パトリック  
叙階記念カードのことば：  
友のために自分の命を捨てるこ  
と、これ以上に大きな愛はない。  
ヨハネ15：13



⑦司教館

ミスエアツミ  
三末 篤實 司教

出身：長崎県  
生年月日：1936年4月24日  
叙階日：1962年3月19日  
司教叙階日：1985年6月16日  
洗礼名：ヨゼフ  
叙階記念カードのことば：  
喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣き  
なさい。ローマ12：15



⑦司教館

ハセガワ タダシ  
長谷川 儀 神父

出身：広島県  
生年月日：1931年7月19日  
叙階日：1965年3月18日  
洗礼名：パウロ・フランシスコ（アシジ）  
叙階記念カードのことば：  
私は特に喜んで私の弱さを誇りにしよう、そうすればキ  
リストの力は私に住むであろう。2コリント12：9



⑦幟町教会 ③向原教会 ⑩東広島教会（巡回）

ゴトウ マサシ  
後藤 正史 神父

出身：北海道  
生年月日：1954年1月5日  
叙階日：1990年3月21日  
洗礼名：シメオン  
叙階記念カードのことば：  
わたしのきょうだいである、このいちばん小さくされているも  
のの一人にしたのは、わたしにしたのである。マタイ25：40



⑦司教館（6/1より福音の光修道会本部修道院付）

ノ マシゲノブ  
野間 重信 神父

出身：広島県  
生年月日：1925年12月8日  
叙階日：1962年12月22日  
洗礼名：使徒ヨハネ  
叙階記念カードのことば：  
イエスは彼らに言われた。「わたしを遣わした方のみこころを行ない、  
そのみわざを成し遂げることが、わたしの食物です。」ヨハネ4：34



⑦司教館（さいたま教区出向）

サワノ ヨウジ  
澤野 耕司 神父

出身：佐賀県  
生年月日：1947年9月23日  
叙階日：1979年3月21日  
洗礼名：ヨセフ  
叙階記念カードのことば：  
一粒の麦が地に落ちて死ななければ一粒のままであ  
る。しかし、死ねば多くのみを結ぶ。ヨハネ12：24



司祭年特集  
小教区で働く司祭②

広島地区

教区報では、司祭年特別企画として3号にわたって、岡山・鳥取地区（地区長 後藤神父）、山口・島根地区（地区長 佐々木神父）の予定は、広島地区です。次号は、山口・島根地区の予定です。

④ 祇園教会 ⑤ 可部教会 (巡回)

ヤマネ トシミ  
山根 敏身 神父 (イエズス会)

出身：広島県  
生年月日：1944年9月27日  
叙階日：1975年3月22日  
洗礼名：パウロ三木  
叙階記念カードのことはば：  
神の言葉は生きており、どんな両刃の剣よりも鋭く、心の思いや考えを見分けることができる。  
ヘブライ4：12



④ 祇園教会 ⑤ 可部教会 (巡回)

ホアン・カトレット 神父 (イエズス会)

出身：スペイン バレンシア  
生年月日：1937年1月2日  
叙階日：1969年3月15日  
洗礼名：洗礼者ヨハネ  
叙階記念カードのことはば：  
わたしたちは、自分自身を宣べ伝えるのではなく、主であるイエス・キリストを宣べ伝えています。わたしたち自身は、イエスのためにあなたがたに仕える僕なのです。  
2 コリント 4：5



⑧ 観音町教会

サイトウ シンジ  
斉藤 眞仁 神父

出身：島根県  
生年月日：1941年1月2日  
叙階日：1973年11月23日  
洗礼名：イグナチオ・デ・ロヨラ  
叙階記念カードのことはば：  
失われたものを捜して救うために来たのである。  
ルカ 19：10



② 三次教会

アルバレス・アルベルト 神父 (イエズス会)

出身：スペイン マラガ  
生年月日：1924年3月21日  
叙階日：1957年3月24日  
洗礼名：アルベルト  
叙階記念カードのことはば：  
全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。  
マルコ 16：14 - 20



⑥ 三篠教会 (担当) 司教館在住

コエツカ タカシ  
肥塚 倭司 神父

出身：山口県  
生年月日：1941年3月17日  
叙階日：1972年11月3日  
洗礼名：使徒ヨハネ  
叙階記念カードのことはば：  
父よ、時が来ました。ヨハネ 17：1



① 松江教会

フカホリ ショウジ  
深堀 升治 神父

出身：広島県  
生年月日：1937年  
叙階日：1964年  
洗礼名：グレゴリ  
叙階記念カードのことはば：  
主の救いを静かに待ちたい。

⑭ 尾道教会

ヤマグチ ミチハル  
山口 道晴 神父

出身：長崎県  
生年月日：1953年  
叙階日：1984年  
洗礼名：ヨセフ  
叙階記念カードのことはば：  
キリスト・イエスを抱きたい。



⑧ 観音町教会

オジマ キヨハル  
尾島 紀代治 神父 (サンパウロ教区)

出身：ブラジル サンパウロ  
生年月日：1949年2月12日  
叙階日：1981年7月11日  
洗礼名：フランシスコ  
叙階記念カードのことはば：  
主なる神は、弟子としての舌をわたしに与え疲れた人を励ますように言葉を呼び覚ましてくださる。朝ごとにわたしの耳を呼び覚まし弟子として聞き従うようにしてくださる。イザヤ 50：4

⑨ 翠町教会 (担当) 幟町在住

ベッラ・アルベルト 神父 (ミラノ外国宣教会)

出身：イタリア  
生年月日：1960年1月25日  
叙階日：1989年6月10日  
洗礼名：アルベルト  
叙階記念カードのことはば：  
わたしは道であり、真理であり、命である。ヨハネ 14：6



⑫ 呉教会

ジェロム・パダモサルトノ 神父 (淳心会)

出身：インドネシア・フローレス島  
生年月日：1962年6月3日  
叙階日：1996年8月11日  
洗礼名：ジェロム  
叙階記念カードのことはば：  
人間にできることではないが、神にはできる。神は何でもできるからだ。  
マルコ 10：27



⑩ 廿日市教会

ハラダ トヨキ  
原田 豊己 神父

出身：山口県  
生年月日：1953年12月22日  
叙階日：1982年3月22日  
洗礼名：フランシスコ・ザビエル  
叙階記念カードのことはば：  
わたしは雲の中に、にじを置く。これがわたしと地との間に契約のしるしとなる。創世記 9：13



⑬ 三原教会

アルナルド・ネグリ 神父 (ミラノ外国宣教会)

出身：イタリア  
生年月日：1961年4月1日  
叙階日：1991年6月8日  
洗礼名：アルナルド  
叙階記念カードのことはば：  
キリストの内には、満ちあふれる神性が、余すところなく、見える形をとって宿っている。コロサイ 2：9



地区便り

広島地区

朗読劇「この子たちの夏」

翠町教会 黒河恵子



朗読劇「この子たちの夏」

二月二十一日「平和アピール一九八一」記念ミサ後、「この子たちの夏」という題の原爆手記の朗読劇があり、私も参加させていただきました。祇園教会の上野さん、兼光さんにご指導いただき、計五回の練習を経て本番に臨みました。前日のリハーサルには、さいたま教区から中村陽子さんと、おばさまで女優の村たつさんが立ち会ってくださいました。

皆さんにお伝えするとい

うことで、家でも練習を重ねましたが、何度も何度も読んでみると当時の地獄のような現状に加え、体験された方々の言葉では言いつくせない悲痛で苦しい思い、そして生きたいという願いが伝わってきて、涙が溢れ、いたたまれない気持ちになりました。

原爆を体験された方と決して同じ思いにはなれませんが、その方達の悔しい思い、悲しい思い、苦しい思いを心が震える程聞く、知るということを通して、体験していない私達が平和を願い、伝えていくことになると思いました。良い経験をさせていただいたと感謝しています。

山口・島根地区

少年の集い

\*乙女峠巡礼

五月二日(日)〜三日(月)にかけて、徳佐駅から津和野教会までの夜間巡礼が行われる。

\*日韓カトリック青少年の集い

二年に一度行われていた『日韓合同キャンプ』の

名称を今回から『日韓カトリック青少年の集い』に変えることになった。日程は八月九日〜十二日。今回は、広島での平和学習などを通して、日韓の学生の交流を図る予定。

『乙女峠巡礼』と『日韓カトリック青少年の集い』の案内は、四月初旬までに教区内の学校等に発送します。多くの子どもたちの参加を待っています。

信徒使徒職協議会

例年、七月・十一月・三月の第一日曜日に定例会を開催していたが、二〇一〇年度より四月・九月・一月に開催することになった。

養成研修これからの予定

\*祈りの体験研修後期(ラフォント神父) 第一回目は四月十七日(土)

\*信者養成研修会『信徒の神学』(百瀬神父)

三年目に入る研修の第一回目は、五月十五日(土)〜十六日(日)、宗像の黙想の家にて。テーマは「神の恵みと私たちの信仰生活」。

昨年九月の典礼研修会のDVDは現在編集中です。

海味からの風 18

下関労働教育センターだより

●「朝鮮学校が、公共の公園を不法占拠している!」このように叫んで、授業中の朝鮮学校に押しかけ、メガホンで怒鳴り散らす「在日特権を許さない市民の会」(略称「在特会」という団体があります。●不況や雇用不振などにより、社会の閉塞感が高まると、そのはげ口として「排外主義」が台頭し、ナチズムのように歪んだ民族主義をベースに、社会的弱者の立場に追いやられている人や、在日外国人などのマイノリティーが攻撃されます。●さて、朝鮮学校が学校前の公園を運動場として使用していたことについては、地域住民との合意もあり、京都市も問題としておりませんでした。そのような事実を確認もせず「不法占拠」だと断定し、「日本から出ていけ!」などのヘイトスピーチを執拗に繰り返したのです。この事態に子ども達は怯え、恐怖のあまり泣

き出す子どもも多かったです。聞いています。保護者達は悔しさに震えながら怒りを訴えていました。●今年日本が朝鮮を強制的に併合して100年という節目を迎えました。ところが、いまだにこのような不当差別が繰り返されているのです。●日本の歴史教育が近現代史について時間も内容も希薄であることも、原因の一つだと思いますし、他方、政治家などの公人には日本の負の歴史について肯定的評価をしたり、矮小化したりする者もあり、政府自体が、慰安婦問題などの戦後補償から逃げ続けていることも、大きな要因だと思います。敗戦直後、東久邇宮が「一億総懺悔」と言い、侵略戦争の具体的な責任について、国をあげて曖昧にしてきたことも。●置き去りにしてきた問題は、真摯に向き合わない限り、様々に形を変えて、私たちの社会不安となり続けてしまうのです。

(細江教会・廣崎リュウ)

岡山・鳥取地区

「平和アピール記念行事」

二月二十一日、倉敷教会を会場として行われた。レネ神父は講話の中で、日本へ派遣が決まった時、祖母の顔が変わり自分は「裏切り者」に映ったと言う。信者数に比して圧倒的に神父数の多い私たちがアジアの国から神父を招くことの安易さと、侵略の傷がまだ残るアジアに対し平和憲法実現の責任を感じた。

これからの予定

- 五月三日 津和野乙女峠祭
- 五月八日 地区信徒養成講座①(岡山)
- 五月十六日 第一回地区宣司評(津山)／ユニティ集会(津山)
- 五月二十八日 日本国憲法を考える／芳賀巡礼(二六聖人デイエゴ喜齋)
- 六月六日 司教叙階二十五周年記念行事(広島)
- 六月十二日 信徒養成講座②
- 六月二十七日 日本国憲法を考える／キツペス神父講演会
- 七月十日 信徒養成講座③
- 八月五〜六日 広島平和巡礼



以下は、ドイツ・エッセン司教区のコップ神父一行が昨年十月十八日に世界平和記念聖堂を訪問し、主日ミサ(十八日)におけるコップ神父の挨拶です。

コップ神父挨拶

一昨年、コップ神父はエッセンの枢機卿館にあるサール神父のレリーフを設置するために来広されました。今回は、平和の実現のために記念聖堂を建設したラサール神父の願いを真剣に受け止め、ラサール神父が被爆直後に幟町から縮景園、長束修練院へと救助された順路を巡られました。いまだに遠いドイツの地でラサール神父の禅の道を歩み、神父を慕う人々がおられることに敬意を払いま

す。記念聖堂と禅を遺されたラサール神父の平和を私達が学び直す機会にしたいと願っています。

(幟町教会 青葉)

信の徴であり、また「世界平和記念聖堂」という、他に例を見ない名前のもと、世界平和のための綱要そのものであるうとしています。

私どもは、この教会が、その創設者の意図に沿って、一つの象徴であらんとしていると感じたく思います。それは、人類に一つの要求を突きつける象徴です。そして同時に、心の確信と喜びとの象徴です。すなわち、私どもにとつて、平和とは可能である、いやそれ以上に、平和とは、私どもには間違いのない、じつに確実なものである、という確信と喜びとの象徴です。

心の状態ではありません。「彼こそは我々の平和である」(エフェソ二・一四)と、かの使徒は言っています。これゆえに、私どもは、自分たちを巡礼者の集団と理解しております。私どもは、この都市のキリスト者であられる皆様との連帯をこれからも保持したく思います。私どもは、皆様と共に、かの聖句の約束するところのものを、揺るぎなく信じたいのです——即ち、「キリストは、栄光の望みとして、汝等の中にある」(コロサイ一章九節)と。

ですから、私どもは、巡礼の集団として、喜びに満たされており、そして皆様と共に、このミサに与ることを有り難く思っています。このミサは、大いなる時であり、私どもの旅の頂点です。それは、私どもがキリストの臨在を仰ぎ、それを受け取り、そして絶えず信頼申し上げるそのキリストと感応道交する、大いなる時です。まさに、「彼こそ我らの平和である」と言われている通りです。

(佐藤 研 訳)



岡山・岡山南教会

李 尚潤 神父

「愛を表現しましよう！」

「はじめまして」、「ありがとうございます」、「すみません」

この三つの表現は私と離れることができません。これらは、私が初めて学んだ言葉でもあります。日本へ来て私が初めて会う方々が使っている言葉です。また何回も使ったことのある方々はもちろん、初めて会う方々からその方々を通して多くのことを学ぶことができます。そのため、「ありがとうございます」という表現を使うことが多かったです。また、慣れないうちは私の下手な日本語で迷惑を掛け、心配をお掛けすることが多くて「申し訳ございません」と

いう表現もたくさん使いました。しかし、このような表現は、日本に来た初めの頃だけでなく、今もまだ多く使っています。また、この表現は単に私だけが多く使うのではなく、日本の方々もよく使う表現だと感じています。

しかし、皆様と一緒に生きていくうえで、こんな単純な表現はよく使いますが、人が生きていくうえで必要な一番基本的な表現を使わないということにも気が付きます。

私たちが生きていくうえで、一番基本的な表現は何でしょう？それは『愛』です。愛の源である神様が、私どもを創造したから私どもは『愛』以外の何でもないからです。しかし日常生活の中では、この表現に対して恥ずかしい気持ちや先にたち、素直に表現してはいけないような感じになっっているのも事実です。

愛の源である神様が、ご自身の子をこの世の中に与え、十字架の死を通してその愛を表現したように、私たちもその愛を表現しながら暮さなければなりません。初めのうちは難しく、また恥ずかしく感じられますが、二度、三度、心の底で響く愛の表現をしてみると、私たちがどれだけ愛されて生きているのか、その愛のためにどれだけ幸せなのかを感じる事ができるようになります。この愛の表現こそが、まさに私たちが「生」の席 (Sitz im Leben) で神様を証しながら生きて行く新しい殉教者としての「生」になることだと信じて疑いません。

皆様、「愛します」、「愛しています」というたった一言は、「熱さ」とときめきを持っています。自分の周りの人々に表現してみましよう。私ひとりくらいではなく、私から始める愛の表現と実践は神様の国の民としての当たり前前の権利と同時に義務です。「皆様、愛しています。」



<65>

中国プロックカトリック高校生大会  
『受ける心 新たな人々 teenager の君に』



三月二十五日から二十八日、岡山のノートルダム清心女子大学一宮校舎で、第四十四回中国プロックカトリック高校生大会が開催され、高校生約七十名が参加しました。

今回のテーマは『受ける心 新たな人々 teenager の君に』。四日間一日一日のテーマがあり、今までの自分を振り返り、ルワンダの紛争をテーマにした映画を見、それを受けて、未来の自分を考えました。戦争のことは受け、自分たちがどうすべきか。なかなか難しい内容でしたが、皆一生懸命考え、最終日のグループ発表に備えました。普段、なかなか分かち合うことが出来ない高校生たちがこの四日間で分かち合



うことができ、得たものは大きいのではないのでしょうか。

風 紋

日々の忙しさの中で、気がつくともまた桜の季節がやってきた。教会のしだれ桜も今年は何んな顔を見せてくれるのだろうか。(上)

